

JA だより



—自然のめぐもりと暮らしたくて—



北海優駿優勝のミータロー号の口取り風景

3年連続7億円突破へ向け意欲!

静内ミニトマト部会主催青空研修会行われる

5月22日、ミニトマト「太陽の瞳」生産者をはじめ、道内外市場関係者や各農業関係機関から52名が参加し、静内ミニトマト部会(部会長 中道雅則 部会員38名)主催の青空研修会が実施されました。

本研修会では、中道部会長の圃場をはじめとした3圃場を巡回し、生育具合の比較を行いました。どの圃場も4月から5月にかけての日照不足や低温の影響を受けることなく、玉付き、色やツヤなど順調な生育過程であることが、市場関係者らによって確認されました。

加えて、中道部会長の圃場では、今年から新たに試験栽培を行っている「キヤロルパッション」など2品種の生育具合や栽培方法の視察・経過報告も行われました。現在、道内外11市場に出荷が始まっており、7月前半に出荷のピークを迎える予定です。3年連続販売金額7億円突破に燃える生産者からは、熱い視線が注がれていました。

また、前日には関係者100名以上が参加した選果場開きも行われ、今年度の青果物販売へ向け、本格的なスタートが切られました。(営農部生産課 西岡敬司)



皆さん真剣な眼差しで見つめています



前日には、盛大な選果場開きが行われました

本格的な営農活動がスタート

今号から各振興会、青年部や女性部の活動をより沢山ご紹介していきます。今回は、3年連続販売金額7億円突破を目指して意欲に燃える静内ミニトマト部会の「青空研修会」や春の風物詩ともいえる町営川合牧野への入牧など営農時期の到来を告げるニュースをご紹介します。

秋には大きくなって帰っておいで

町営川合牧野に入牧

5月16日、町営川合牧野で、静内酪農振興会(会長 小池孝義 会員21名)の会員をはじめ、各農業関係機関協力のもと乳牛の入牧が行われました。

この日は、振興会の会員9名で、6カ月齢から23カ月齢までの雌の乳牛95頭を入牧させ、この後には、8頭が新たに加わる予定で、今年合計で103頭の乳牛が牧野を利用します。

また、16日は、入牧した全頭の体重測定に加え、各会員から2頭ずつを選抜して血液検査、ふん便検査ではピロプラズマ原虫やコクシジウムオージスト数の計測などのチェックが行われました。



徳本さん(写真中央)が頑張って追い込んでいます

牧野での放牧は、10月末までの予定で、退牧時には1頭当たり150kgの増体が目標とされており、今年も大きくなって帰ってくるのが期待されます。

(営農部生産課 遠藤正樹)

農業をもっと身近に感じて欲しい！

JAしずない青年部食育出前授業行っ

JAしずない青年部（部長 不動達也 部員32名）では、地域の子どもたちに「農業を身近に感じて欲しい」との想いからハロウィンなどの開催をしています。今年も、このような活動に加え、新たにミニトマト栽培の出前授業を行っています。

5月13日は桜丘小学校の2年生に、5月23日は山手小学校の2年生と4年生を対象に出前授業を行いました。青年部員の不慣れな説明にも子どもたちは真剣に聞き入り、普段持ち慣れない鍬に悪戦苦闘する姿は可愛くもありました。今後は、ミニトマトの生育状況をみながら、出前授業を行っていく予定となっています。

このように活動は増えていますが、ここ数年部員が減少傾向にあり、随時部員を募集しています。皆さんの息子さんや娘さん、また、興味はあるけどきっかけがないという方など大歓迎です！是非、JAしずない青年部事務局 岬（TEL 42-1051）までご連絡の程、宜しくお願いします。



慣れない手つきで、一生懸命に水やりです



美味しいミニトマトができるかな？



TPPの影響を訴える

6月15日、Aiba 静内前で、TPP参加による国内への影響を訴えるチラシとポケットティッシュの配布をJAしずない青年部とJAしずない女性部（部長 木田正子 部員40名）合同で実施しました。

これは、JA全国青年部協議会のTPPに対する全国一斉街宣活動の一環として行ったもので、青年部・女性部員合わせて10名が参加し、不動達也青年部長は「これが理解へのきっかけとなって欲しい。」と話していました。



今年も宜しくお願いします！

5月25日、毎年恒例のもぎたて朝市会主催の「もぎたて朝市」(会長 帰山二土子 会員8名)が、JAしずない本所スタンド横で今年の営業を始めました。

今年も初日から朝市の営業を待ち侘びていた多くのお客さんで売場は一杯となり、開始から15分程度で、ほぼ売り切れ状態となってしまいました。

今後は、例年通り10月の最終土曜日となる26日まで、毎週休まず営業をしていきますので、お近くまでお越しの際には、是非お立ち寄り下さい。

素牛の更なる品質向上を目標に！

道内初となる「農場HACCP推進農場」の認証を受ける

この度、田原地区の渡辺隆さんが、公益社団法人中央畜産会が認証を行っている「農場HACCP（ハサップ）推進農場」を牛の飼養管理をする農場としては道内で初めて指定を受けました。

この「農場HACCP」とは、畜産物の安全性向上を目的とした重要管理点を農家自らが設定し、それを継続的に実施・記録することにより、生産段階からの危害要因をコントロールする飼養衛生管理のことで、渡辺さんは、この考えを平成17年より導入し、牛舎の掃除や牛の健康管理に関するマニュアルを作成してきました。

現在の具体的な取り組みについて、農場出入口に消毒用マットを設置、また、各牛舎には専用の長靴などを用意し、外部からの病原菌侵入を防いでいます。その結果、病気になる牛は減少し、飼養管理状況が改善されたことに加え、

治療費をはじめとした経費削減にも繋がっているとのことでした。

また、渡辺さんはこの衛生管理について、静内産素牛の更なる品質向上、そして、農家所得向上を図るために、自身が組合長を務める新ひだか町静内和牛生産改良組合内でも積極的に啓蒙を行っています。

最後に渡辺さんから「今後も衛生管理を徹底し、購買者に安心して買ってもらえる牛を提供し続けられるよう努力していきたい。」と締めくくって頂きました。

（営農部生産課 坂下敏明）



更なる静内産素牛の品質向上へ向けて邁進を続けます

黒毛和牛素牛 市場販売成績

（平成25年5月市場～6月市場）

今年も静内産素牛の取引価格は、去勢・めすともに高い水準での取引となっています。また、6月市場では、田原地区の和田司さんが販売した去勢牛が、今年度販売された素牛の最高価格を更新しております。（※取引市場については、いずれも安平町・ホクレン北海道市場のもの。）

5月市場（5月8日開催）

販売頭数	72頭（去勢 33頭 めす 39頭）
販売金額	34,909,350円（去勢 18,074,700円 めす 16,834,650円）
平均価格	484,852円（去勢 547,718円 めす 431,658円）
最高価格	去勢 663,600円（西川地区 船越英治さん販売） めす 654,150円（田原地区 和田司さん販売）（5月市場めすの部第2位）

6月市場（6月6日開催）

販売頭数	65頭（去勢 29頭 めす 36頭）
販売金額	30,865,800円（去勢 15,078,000円 めす 15,787,800円）
平均価格	474,858円（去勢 519,931円 めす 438,550円）
最高価格	去勢 719,250円（田原地区 和田司さん販売） めす 520,800円（農屋地区 有（有）大川農場販売）



黒毛和牛のマメ知識 平均日齢体重とは？

市場での評価は、サラブレッドと同じく血統が大きなポイントとなりますが、この「平均日齢体重」も重要なポイントとなってきます。市場では1日当たり1kgの増体が目安となっており、5月市場で最高価格だった船越英治さんの去勢牛は、266日齢で体重351kg、平均日齢体重にすると1.32kgとなっていました。



今年第1回目、第2回目となる

A i b a祭開催される



恒例となる大抽選会で大いに盛り上がる会場

5月8日に今年1回目、6月5日に今年2回目となったホッカイドウ競馬支援事業実行委員会主催の「A i b a祭」が、さくらせしモニールホールで開催されました。

昨年6回開催されたA i b a祭では、合計で16,081,000円の馬券発売額となりましたが、これは昨年、A i b a静内で発売されたホッカイドウ競馬の馬券発売額の2割以上を占める大きなものとなりました。

今年も多くの方にご来場頂き、1回目が、2,316,000円(計画対比286.28%)となり、2回目が、2,587,000円(計画対比259.74%)という発売結果となりました。

今後のA i b a祭は、7月10日、8月7日、9月10日、10月15日、11月6日となっており、特に8月のA i b a祭は、JAしずないが当番JAとなっております。

組合員の皆様をはじめ、ご家族、ご友人お誘い合わせの上、多くの方のご来場をお願い致します。

また、今号の表紙を飾ったのは、6月4日に開催されたホッカイドウ競馬のダービー「北海優駿」に優勝したミータロー号の口取り写真です。生産は、豊畑地区の(有)静内酒井牧場で、ミータローから右に2人目が、代表取締役の酒井寛崇(ひろたか)さんです。

これから、どんどんと盛り上がりを見せていくホッカイドウ競馬の中で、こういった静内産馬の活躍が見られることを期待したいですね。

5月21日、札幌競馬場でHBA日高軽種馬農業協同組合主催で「HBAトレーニングセール(サラ2歳)」が開催されました。

今年は開催日が、昨年の2日間から1日に短縮され、19日(日)に事前展示、20日(月)に公開調教、そして、21日(火)に市場開催という初の試みとなる日程のもと行われました。

市場全体では、262頭(牡153 牝109)が上場され、152頭(牡94 牝58)が売却、売却率58.0%(牡61.4% 牝53.2%)となりました。

売却総額は、852,611千円(税込)(牡578,666千円 牝273,945千円)となり、平均売却価格が5,609千円(税込)(牡6,156千円 牝4,723千円)という結果となりました。

静内産馬(所有者別)は、37頭(牡22 牝15)上場され、22頭(牡14 牝8)が売却、売却率は59.5%(牡63.6% 牝53.3%)となりました。

売却総額は、97,031千円(税込)(牡72,881千円 牝24,150千円)となり、平均売却価格が4,410千円(税込)(牡5,206千円 牝3,019千円)という結果となりました。

軽種馬

市場取引成績

(HBAトレーニングセール)

●市場全体取引成績

	全体(前年対比)	牡(前年対比)	牝(前年対比)
上場頭数	262頭(+81頭)	153頭(+38頭)	109頭(+43頭)
売却頭数	152頭(+29頭)	94頭(+12頭)	58頭(+17頭)
売却率	58.0%(-10.0%)	61.4%(-9.9%)	53.2%(-8.9%)
売却総額	852,611千円(+143,388千円)	578,666千円(+62,801千円)	273,945千円(+80,587千円)
平均売却価格	5,609千円(-157千円)	6,156千円(-135千円)	4,723千円(+7千円)

●静内産馬(所有者別)取引成績

	全体(前年対比)	牡(前年対比)	牝(前年対比)
上場頭数	37頭(+6頭)	22頭(+5頭)	15頭(+1頭)
売却頭数	22頭(-1頭)	14頭(増減なし)	8頭(-1頭)
売却率	59.5%(-14.7%)	63.6%(-18.8%)	53.3%(-11.0%)
売却総額	97,031千円(-3,507千円)	72,881千円(+9,041千円)	24,150千円(-12,548千円)
平均売却価格	4,410千円(-39千円)	5,206千円(+646千円)	3,019千円(-1,058千円)

国が支える
安心が大きくなる

担い手積立年金

[愛称]

農業者の方なら広く加入できます

農業者年金は、国民年金第1号被保険者で、年間60日以上農業に従事している方であれば、どなたでも加入できます。農地を持たない農業者、配偶者や後継者などの家族従事者も加入できます。

脱退一時金は支給されませんが、加入期間にかかわらず、それまでに支払った保険料は将来年金として受け取ることができます。旧制度（平成13年12月末まで）の加入者で特例脱退した方も60歳未満であれば加入できます。

少子高齢化時代に強い年金です

ご自身で積み立てた保険料とその運用実績により、将来受け取る年金額が決まる積立方式（確定拠出型）の年金です。加入者・受給者数に左右されにくく安定した年金制度で、運用利回りの状況などで保険料が引き上げられることはありません。

保険料の額は自由に決められます

自分が必要とする年金額の目標に向けて、自分で保険料を決められます（月額2万円から6万7千円までの間で千円単位で自由選択）。農業経営の状況や老後設計に応じて、いつでも見直すことができます。

終身年金で80歳までの保証付きです

年金は生涯支給されます。仮に加入者・受給者が80歳前に亡くなった場合でも、死亡した翌月から80歳までに受け取れるはずであった農業者老齢年金の現在価値に相当する額が、死亡一時金として遺族に支給されます。

公的年金ならではの税制上の優遇措置があります

支払った保険料は、全額（年額12万円～80万4千円）が社会保険料控除の対象となり、所得税・住民税の節税につながります。また、保険料などの年金資産の運用益は非課税です。さらに将来受け取る農業者年金は、公的年金等控除の対象となり65歳以上の方であれば公的年

金等の合計額が120万円までは全額非課税となります。

農業の担い手には手厚い政策支援があります

認定農業者で青色申告しているなど農業の担い手となる方には、国から月額最高1万円の保険料補助があります。

●保険料補助は、次の3つの要件を満たす方が受けられます。

1. 60歳までに保険料納付期間が20年以上見込まれること。
※旧制度加入者（脱退一時金、または特例脱退一時金を受給した者は除く）は、旧制度（平成13年12月末まで）の保険料納付済期間も合算できます。
2. 必要経費などを控除した後の農業所得が900万円以下であること
3. 下記の区分①～⑤のいずれかに該当する方
 - ①認定農業者で青色申告者
 - ②認定就農者で青色申告者
 - ③区分①または②の者と家族経営協定を締結し、経営に参画している配偶者または後継者
 - ④認定農業者または青色申告者のいずれか一方を満たす者で、3年以内に両方を満たすことを約束した者
 - ⑤35歳まで（25歳未満の場合は10年以内）に区分①の者となることを約束した後継者

静内農業青色自主申告会からのお知らせ

源泉所得税納期特例納付の期限が近づいています

1月～6月までの源泉所得税納期特例納付の時期となりました。静内農業青色自主申告会では、**7月1日(月)～10日(水)まで受付業務を実施致します。**

給与を支給している専従者及びパートの方1名につき1枚、新ひだか町役場総務企画部税務課より送付されております「平成25年度分給与所得に対する源泉徴収簿」に毎月の給与支給日及び給与の金額をご記入の上、当自主申告会事務局（JAしずない営農部営農課）までお越し下さい。

源泉所得税が発生しない場合でも、納付書に専従者及びパートに支払った給与支払総額を記入し、浦河税務署へ提出する必要があります。なお、納付額が0円の場合には、当自主申告会で一括送付しておりますので、源泉徴収簿と一緒に持ち下さい。

ただし、扶養親族等がいる場合には、源泉徴収税額が違いますので、源泉徴収簿と一緒に送付されている「給与所得の源泉徴収税額表」をご覧頂くか、当自主申告会までお問い合わせ下さい。

また、平成25年からは以下のような変更点がありますので、源泉所得税納付の際には、源泉徴収税額を再度ご確認くださいと思います。

●平成25年1月1日から平成49年12月31日までの間に生じる所得については、源泉所得税を徴収する際、復興特別所得税を併せて徴収し、源泉所得税の法定納期限までに、その復興特別所得税を源泉所得税と併せて納付しなければならないこと。

その他ご不明な点等がありましたら以下までお問い合わせ下さい。

問い合わせ先 JAしずない営農部営農課 TEL 42-1051 FAX 42-7034

理事会報告

4月理事会 (24日)

1. 理事報酬の支給方法及び支給内容について
2. 道の検査指摘事項に対する改善状況等の報告について
3. 自治監査指摘事項の回答について
4. 規定類の改定について
5. 固定資産(土地)の処分(案)について
6. 平成25年度畜産経営力向上緊急支援リース事業(案)について
7. 出資持分の譲渡について
8. 出資金の減口について
9. 行政庁に対する業務報告書の提出について
10. ディスクロージャー誌の縦覧について

5月理事会 (28日)

1. 平成25年度馬産地再活性化緊急対策リース事業について
2. 農業まつりの開催について
3. 出資持分の譲渡について
4. 夏期手当の支給について

営農課から廃プラスチック分別に のお知らせ ご協力をお願いします

6月3日に実施致しました廃プラスチック回収では、組合員の皆様に多くのご協力を頂き、総重量25,520kg(廃ビ6,400kg 廃ポリ19,190kg)を回収致しました。誠にありがとうございました。

今年は、12月に今年2回目の回収を予定しておりますので、宜しくお願い致します。

なお、回収事業の周知文書でも廃ビと廃ポリの分別をお願いしているところですが、今回の回収では、分別が十分にされていないものがいくつか見受けられました。

当JAでは、環境への配慮から「リサイクル処理」を前提に回収事業を実施しております。そのため組合員の皆様にもご理解とご協力の程、宜しく願い申し上げます。

おつかれさまでした

退職職員

管理部管理課 5月31日付

大坂 和代(勤続年数19年2ヶ月)



ボーナスは、
まかせて安心

2013年

夏の定期貯金 キャンペーン

3ヶ月間



実施期間

6月3日(月)から8月30日(金)まで

期間中、「新規に准組合員加入」で
お米5kgプレゼント!

先着150名様限定
プレゼント



ちょきんぎよ
「印鑑ポーチ」

※なくなり次第終了とさせていただきます

JAしずない前に
駐車スペースを
広く確保されておりますので
お気軽にご来店下さい。



定期貯金

対象種目

定期貯金1年のみ(自動継続)

新規契約(正組合員・准組合員対象の利率)

組合員適用利率

1年

0.20%

取扱対象

個人の方に限ります。

お一人様10万円から1,000万円まで

※普通貯金からの預け替えも対象とします。

※満期日前の解約は、中途解約利率が適用されます。

※満期日以降は、店頭金利が適用されます。